



昭和十年八月五日發行
昭和十年八月五日發行
昭和十年八月五日發行

Table with columns for 'Advertisement' (廣告) and 'Subscription' (訂閲) rates. Includes details for monthly and quarterly payments.

明治天皇御製

萬代の國のしづめを大空に

あふくは富士のたかねなりけり

靈峰



日支親善の根本義

日支關係好轉の聲が聞えて
ある今日、日支親善の根本義
を闡明するは刻下の急務であ
るに信ずる。

日支親善もさういふことを排
撃すべき何物もない。東洋平
和の根元は日滿支三國の提携
親善にあることは言を挿む餘
地のないところである。

この言論は一つは蔣を中心
とする政權國民黨の意圖の一
つは一般民論を反映するも
ので其論調を見れば事態は明
瞭である。

一、日支提携の先決條件は日
本が東北四省を支那に返還
するにあり、これなくして
日本は日支提携を慮する
こと能はず。

御挨拶

肅啓小官儀今般航空兵科に轉補拜命餘武を防空に疎す
事相成候回顧候へば去る明治四十一年末奈良縣下壯
丁の粹を以て成れる歩兵第五十三聯隊に士官候補生
して入隊以來大和聯隊に在職すること前後約二十有五
年只徒に歲月の長きを語るを得るのみにて微功無く寧
ろ餘罪に慚汗を覺ゆるもの有之候に拘らず尙今日ある
を得候段全く縣民特に在郷兵各位御光臨の賜と感銘
罷在候然れば第二の故郷否小官にまじりては實に第一郷
土たる當地を忘る能はざる共一層奮勵以て御恩
に報する覚悟に有之候永久的非常時局の高唱せられ
ある折柄各位の御隆盛を祈りて已ます茲に謹而貴重
なる本紙の一隅を借り御禮申度く如斯に御座候
昭和十年八月
清松陸軍飛行學校附兼同校教官
陸軍航空兵中佐 平川哲一

陳者不肖今般免本職歩兵第三十八聯隊機銃隊長に被
補申候此段以紙上御報を兼ね御挨拶申上候
就而現下に於ける非常重大時局に處し身を國防の第一
線におき御奉公申上候ことを得るは私一身は申すに
不及一家存続の光榮之れに過ぐるもの無之只管感激罷
在候共今後は此至榮に報ゆるため渾身の勇を揮ひ
一死以て重任の達成に努力邁進可致覚悟に御座候
願れば過去三ヶ年間聯隊副官在職中は只其職に止る
而已にして何等の貢獻をも不能成今茲に離任候こと
定に慚愧に不堪次第に有之候
然るに此間各位よりは公私共深甚多大なる御厚情
御援助を寄與被下衷心感謝の至に不堪終世忘却し能は
ざるに有之候御禮申上候
何卒將來も倍舊御挨拶を賜度奉願候
乍筆筆交結の候各位御自重御自愛倍々御健康の程新上
申候
先は轉任に當り御挨拶申上度如斯御座候 敬具
昭和十年八月二日
陸軍歩兵大尉 清田圓

その態度を見ることは意外なる。
殊に、日支親善は、東四省
を得ない。遺憾とするは止む
返還が唯一無二の條件なりと
こ、に於て、古き、善き友
に對して白き齒の笑顔を見せ
んよりは、むしろ彼の爲に斷を
以てするも問題にはならな
乎として反省を迫らし、覺醒
を凝視することが大慈大仁な
るのであるを知るべきであつ
、なほかつ東四省返還を口

世界の動向

佛伊 兩國
間に此程航空協
定が成立した。
其の内容はロー
マとパリ間、及
びチニニスと
リボリ間に定期
航空を行ふ事並びにマルセイ
ユミベールト間航空路のた
め伊太利領土内に着陸場設置
の事、トリノ、ミラノ、ヴェ
ニス間並にトリノ、リヨン間
航空路設置等廣範圍に亘つて
なる。

好意を秋波し解し、提携を
侵略し解する支那に、この上
何を以て酬ゆべきかは明白
々であらう。
去る三月國民政府の名で發
せられた人民の營業自由を保
障する「人權保障條例」は、當
時これによつて一般人民の日
貨自由購入を認められたもの
後國內法として實施せられる
と傳へられる原産地標記條例
や排日貨運動の變態さしか思
はれない國貨獎勵運動は全く
政府の排日取銷方針を背馳し
てゐるもので、支那新聞では
「人權保障條例」は日本人だけ
が認めてゐる排日取締令だ
が認めてゐる排日取締令だ
が認めてゐる排日取締令だ

佛伊 兩國
間に此程航空協
定が成立した。
其の内容はロー
マとパリ間、及
びチニニスと
リボリ間に定期
航空を行ふ事並びにマルセイ
ユミベールト間航空路のた
め伊太利領土内に着陸場設置
の事、トリノ、ミラノ、ヴェ
ニス間並にトリノ、リヨン間
航空路設置等廣範圍に亘つて
なる。

本誌には修養 軍事、事業等を記載する外支親と聯合分會及分會との連絡に必要事項が掲載してあるから役員特に分會長常務理事は必ず通讀するを必要とす

反軍思想を撲滅せよ



反軍思想とは戦争又は軍事は正しき武の維持によつての行動に對する忌避感から延び、保たれるものなのである。...

日露戦史編纂主意書

嗚呼三月十日別ケテ昭和十年三月十日ハ奉天戰役後正ニ三十星霜我忠勇義烈ナル先輩將士ノ功績ヲ追慕シ...

帝國在郷軍人會吉野郡聯合分會 日露戦史編纂部規定 第一條 本部ハ日露戦役三十年記念吉野郡史編纂事業部...

- 第一條 本部ハ日露戦役三十年記念吉野郡史編纂事業部ト稱ス...
- 第二條 本部ハ日露戦役本郡從軍者ノ戰功ヲ顯彰シテ之ヲ建國以來ノ傳統的精神タル武士道ヲ繼承スルノ資料ト爲ス...

表彰狀 陸軍砲兵一等兵 竹田 五郎 右者資性濃厚篤實ニシテ品行方正...

暑中御見舞申上候 陸軍歩兵大佐 大津山 覺了 陸軍歩兵中佐 米津 穂積...

米國陸軍增加 (新聞切抜) 來る七月一日から著手 ルーズヴェルト大統領は九日陸軍兵員増加案に署名した...

誠心の道 日本精神の眞髓は「まこと」の一事に盡きる。...

伊藤彌太郎 皮膚病、其の他痛む、痒い、うづく だるい病氣一切に應用せられよ...

伊藤彌太郎 皮膚病、其の他痛む、痒い、うづく だるい病氣一切に應用せられよ...

キンカンの靈効を未だ知らざる人は不幸なり

伊藤彌太郎 皮膚病、其の他痛む、痒い、うづく だるい病氣一切に應用せられよ...

キンカンの靈効を未だ知らざる人は不幸なり



必勝の信念を鞏固に

昭和十年師團長會議に於ける 陸軍大臣訓示

右席上に於ける陸軍大臣口演要旨は左記の通りである。帝國現下の情勢は外國國際關係依然として緩解を見ざるに加へ、内は各般の部面に亘り重要な問題山積して未だ打開の途定らず、舉國一致軍國運打開に邁進すべき秋に方り皇軍の使命亦日共重きを加ふ。此重大時局に處し益々團結を齎し上下一致自己の本分に全力を傾倒し、忠誠奉公の道に精進せしむる如く各位の適切な部下に指導を望む。

米國全航空施設の充實

華府ボーストの報道に依れば一九三四年米國議會に依り米國航空政策に關する研究及提案の作成を目的として設定された「フエダラル・エイヴィエーション・コミッション」は既に報告書の作成を終へ、大統領に提出其の承認を得た趣である。右報告書の内容は未だ公表を見ないが、米國航空施設を世界第一たらしむることを目標とし、(イ)航空郵便を含む一切の平時航空事業を統轄する特殊

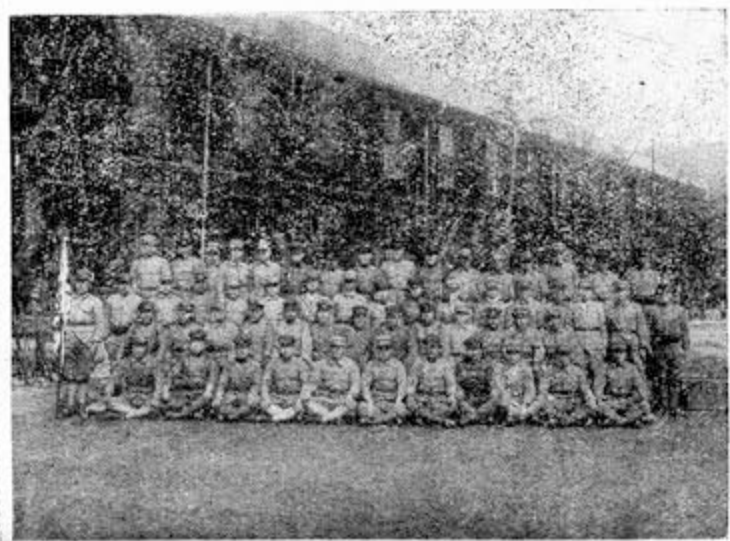
空の護りに備へる

防衛司令部新設

去る五月二十九日付官報軍令第八號を以て八箇條より成る防衛司令部の官制が公布された。即ち東京に東部防衛司令部、大阪に中部防衛司令部、小倉に西部防衛司令部を置いて、陸軍大將又は中將を以て親補せられた防衛司令官は、天皇に直隸し要地の防空計畫に任ずるのである。西部防衛司令官は要塞の防空計畫をも同時に擔任する。

軍國日本行進曲

時は非常時、軍國日本起てよ國民、叫べよ日本皇國のあるそのうちには世界平和の守神平和を叫び、正義を保つ。正義の力、我等の糧よ。正義の双だてには、國民一致の我が日本に擔任する。



(影原念記泊宿營兵八三歩) 會分村上川會人軍聯在國帝

防衛司令官は、軍政及び人事に關しては陸軍大臣、作戰計畫及び動員計畫に關しては參謀總長の區處を承くることになつてゐる。

防衛司令官は、軍政及び人事に關しては陸軍大臣、作戰計畫及び動員計畫に關しては參謀總長の區處を承くることになつてゐる。防衛司令部には、司令官、參謀長、參謀、副官、部附、下士官、判任文官等の職員を置き夫々所定の事務或は技術を掌るのである。施行期は東部防衛司令部は本年八月一日から中部及西部防衛司令部は昭和十二年八月一日からとなつてゐる。なほ東部防衛司令官は東京警備司令官、中部防衛司令官は第四師團長、西部防衛司令官

職業輔導部ヨリ

警察官、刑務官志願者に対し軍人後援會講習所第十六期講習生(七月上旬入所)入所志願者に対し素養試験を實施せらる、其問題左の如し。此程度の問題に對する學力を有するにあらざれば入所するも良好の成果を修め難く又内外警察官、刑務官の採用試験は志願者漸次増加の趨勢にあるため、自然試験問題も其程度向上し志願者たるもの大に勉強するにあらざれば到底所期の目的を達すること能はず。當管下において警察官志願者頗る多し、然れども其學力素養頗る貧弱なるは遺憾に堪えず。粉骨碎身寸陰を惜しむ宿望を貫徹せしむるに止まざるの概を以て修養を積むと共に普通學の學力を向上増進することに努めざるべからず。

問題

算術 (一時間)
(1) $(\frac{5}{7} + \frac{5}{9}) \times \frac{21}{16} + \frac{3}{5} + \frac{1}{4}$



影原念記育教兵育教未會分村峰武多

伊藤彌太郎 特約店 奈良市、吉野、添上、山邊、生駒、磯城郡内ニハ數ヶ所乃至十數ヶ所アリ近クデオ求メアル各郡ニ特約店ヲ募ル

國語 (作文共二十八分間)

(一)左ノ語句ノ右側ニ讀方ヲ附シ下ニ解釋ヲ書ケ
1、履 行 2、莊 重
ハ、斟 酌 3、未 曾 有
ホ、傾 聽 2 值 ス

◎七月除隊者ノ爲ニ

今次の除隊者にして是非共就職の要あるものは當部へ申出つべし。但し除隊者は元職業に復歸し或は歸農するを以て本旨とし徒らに都會生活に憧れ又は現職を擇ばずして濫りによりよき収入を求むる者或は確たる目的なくして只漫然何れかに職を求めむとするが如き申出は當部に於て絕對に受理せざるを以て其邊悉々承知ありたし。

◎照會ニ就テ

當部に對する照會には必ず返信料を添附し且つ返信先住所氏名は封筒面ならず必ず通信文の末尾にも明記することを忘るべからず。然らざれば折角の照會に對しても返信し能はざるこゝあり。

分會活動



耳成村分會

三月二十一日耳成村山之坊班は午後二時より忠魂碑前に於て那軍國旗分會旗の入れ式を施行し終了後司令部増澤中佐の講演あり盛會を極む

富雄村分會

五月十八日附小學校に於て今同青年學校の新設せらるゝ直接後援者たる在郷軍人會に於ては青年學校新設を發展促進せしむべく村當局者も協議し午後一時より青年學校開校式を舉行せられたる大なる盛會を極む

柳生村分會

四月十二日同村小學校に於て青年學校開校式に入校式のため後援者として役員全部出席せり午後一時より役員會を開き渡瀨航艇兵歓迎會の件渡瀨兵衛士慰安會の件招魂祭典執行に關する件等に關して討議せり

治道村分會

五月二日藤原射撃場に於て分會員百七名は射撃、銃剣術の大會を開き五月十二日治道小學校に於て午前七時三十分より會員一五三名は分會査問を受く一均熱心にして良好なる成績を以て終了し午後より米津中佐の講演ありて有意義に散會せり

柳本町分會

五月二十七日海軍記念日を一新深刻に肝銘せしむる目的を以て次の宣傳ビラを各案に配布して紀念日の記憶を新にせり
●想ひ起す三十年前!!
日本海軍に戦艦三等のほぼし、高く艦へハジババ!!
我等の海軍記念日 五月二十七日 皇國の興廢此の戦に在り各員一層奮勵努力せよ!!
昭和十年五月二十七日
帝國在郷軍人會柳本町分會 柳本農學堂 柳本小學校

忍海村分會

五月十五日同村小學校に於て佛式により招魂祭を舉行せり同日午後一時より總會を兼ねて同青年學校新設を發展促進せしむべく村當局者も協議し午後一時より青年學校開校式を舉行せられたる大なる盛會を極む

法隆寺村分會

二十七日の海軍記念日を以て村及國防婦人會員と共に午前八時より奈良市春日神社に於て那軍國旗の入れ式を施行し終了後司令部増澤中佐の講演あり盛會を極む

本宿分會

五月二十七日日本海軍三十七周年記念日を以て日露戦争従軍者等招待し慰安會を開き國防婦人會員の余興等あり盛會に終了す

王寺町分會

五月二十七日海軍記念日當日王寺町小學校に於て午後三時三十分死亡の尊厳をなす後援會開催午後運動場にて運動競技終了後小學校講堂にて軍事講演あり盛會に終了す

富郷村分會

五月二十七日海軍記念日三十周年を記念する爲富郷村入口に招魂祭壇を建設せり二十七日午後七時より分會事務所に於て役員會を開き農繁期に到り出動軍人家族の手足不足の事に分會員手分けして手傳ふ事に協議せり

辰市村分會

五月十四日十五日の兩日青年學校生徒四十名は大坂府下に行軍せしむるに際し分會員が設備並に援助に當る

川上村分會

三月二日より五日迄三八留守隊を以て未教育補充兵を假設置し宿泊教練を實施す新兵の見學及習練幹部の適切な指導により良好なる結果を收めたり
四月二十七日午前八時より福澤寺に於て病没死軍人の招魂祭を舉行し各團体の参拜あり盛會且慰安會を開き午後四時終了後分會役員等討議可決せり

志都美村分會

五月十八日日本村小學校に於て役員會を開き昭和九年年度分會歳入歳出決算並に昭和十年年度歳入歳出豫算の認定の件及海軍軍事思想普及の目的を以て軍艦歸國の標型及軍艦標型購入の上小學校に寄贈する件等を討議可決せり

田原村分會

五月六日國防第一總動隊に選出する將兵の家族を慰め饑饉の守を固むるに於て出動軍人武運長久祈願祭を執行し後遺族と共に記念撮影あり五月十二日分會事務所に於ての件分會事業並に活動に付て討議せり

五位堂村分會

五月二十五日同村小學校に於て海軍記念式を舉行し引續き出征軍人慰安會を開き大浦公六百年祭式典並に出動軍人武運長久祈願祭を舉行し司令部増澤中佐の講演あり盛會に終了す

大淀町分會

四月二十七日同日出身兵三名に對して慰問品を發送す、五月五日分會員同女子青年會と共に湊川神社に参拜し五月十八日より三日間出動軍人家族慰問をなす

平群村分會

五月二十七日海軍記念日三十周年を記念する爲同日露戦争従軍者を招待し回郷座談會を開き滿洲獨立守備隊歩兵第十五大隊附隊少尉の滿洲軍情及實戰談の講話あり盛會且有意義に終了す

朝倉村分會

四月十三日分會事務所に於て役員會を開き昭和九年年度歳入歳出決算並に昭和十年年度歳入歳出豫算の認定の件及海軍軍事思想普及の目的を以て軍艦歸國の標型及軍艦標型購入の上小學校に寄贈する件等を討議可決せり

柳本町分會

四月五日同日に於ける在郷兵の家分府井高等小學校に集合し次で敵機原形に參拜し新調の軍艦旗掲揚式を舉行し吉田海軍中佐の講演あり盛會に終了す

磯城郡海軍聯合分會

六月二十七日海軍記念日紀念事業として海軍員一周年前八時三十分分府井高等小學校に集合し次で敵機原形に參拜し新調の軍艦旗掲揚式を舉行し吉田海軍中佐の講演あり盛會に終了す

船倉村分會

四月十七日分會員八十余名は小雨を以て船倉神社に参拜し出動軍人の武運長久祈願祭を舉行し引續き各團体の参拜あり五月十日會員八十余名は正装にて大坂追兵展及追軍局は新聞社の見學旅行を行なす

三輪町分會

五月三日分會長以下會員一同は出動軍人家族を慰問をなす懇談をなす五月十二日分會事務所に於ての件分會事業並に活動に付て討議せり

常解町分會

五月八、九兩日假設置隊の要領により同町小學校に於て未教育補充兵を集合せしめ補充兵教練を實施せり、一同熱心にして非常時軍事演習に當り、補給兵、教練終了後分會員國防婦人會員と共に出動軍人家族を慰問す

下北山村分會

五月五日例により舉行一體となり戦没死軍人の招魂祭を施行す多數の参拜ありて盛會を極め午後五時終會無事終了

丹波市町分會

四月二十七日海軍記念日三十周年を記念する爲同日露戦争従軍者を招待し回郷座談會を開き滿洲獨立守備隊歩兵第十五大隊附隊少尉の滿洲軍情及實戰談の講話あり盛會且有意義に終了す

御杖村分會

五月二十七日海軍記念日を以て役員會を開き昭和九年年度歳入歳出決算並に昭和十年年度歳入歳出豫算の認定の件及海軍軍事思想普及の目的を以て軍艦歸國の標型及軍艦標型購入の上小學校に寄贈する件等を討議可決せり

御杖村分會

四月二十日山田校改築に就き分會員一同三日間努力奉仕に出動之が後援に當り五月五日渡瀨兵衛士慰安會を開き同日露戦争従軍者を招待し回郷座談會を開き滿洲獨立守備隊歩兵第十五大隊附隊少尉の滿洲軍情及實戰談の講話あり盛會且有意義に終了す

秋野村分會

三月五日廣橋小學校に於て春季總會を開き國防婦人會員等の會同あり盛會を極め司令部増澤中佐の講演あり有意義に終了す

御杖村分會

四月五日より十一日迄笠野高等小學校に於て未教育補充兵訓練を實施す晴雨に拘りません訓練に對して七十五名は熱心に服務し良好なる成績を以て終了す

陸軍御用達 貴金屬 多賀時計店
價格至廉 一〇〇瓦入 (約三十三日分) 壹圓五拾錢
胃腸榮養・脚氣 ふくびそ

陸軍御用達 貴金屬 多賀時計店

緊急廣告
陸軍省徵集課 陸軍省徵集課編纂 青年學校指導書教練用(生徒用) 青年學校教本

陸軍省徵集課 陸軍省徵集課編纂 青年學校指導書教練用(生徒用) 青年學校教本

寫眞は……道馬軒へ
奈良縣囑託 中村朝太郎

松本書店
電話一四九〇番

大峯山へ 御登山の節は 是非とも弊館へ
紀の國屋甚八
電話洞川九番